

「東お多福山ススキ草原復元」活動報告

森脇肇子

2019年12月7日(土) 9:00~14:30

実施項目 : 1) 全面刈り

作業内容 :

紅葉もピークを迎え、東お多福山へ向かう景色も美しく、これから作業する気分も盛り上がって



くる。本日は二週間前の全面刈りの続きで、前回同様刈り払機で刈り取ったネザサの残骸を集積廃棄する。総勢51名のうちJACのメンバーは4名の参加となった。いつものように2班に分れ開始30分くらいで背丈ほど伸びたススキの収穫をする。毎年この時期に行われ、少量だが茅葺屋根などの材料などに使われる。ススキの収穫は活動の成果を伺える。年々質が良くなって量も増えてきている。ススキを取り終わると今度は地面から生え始めている木の枝を手刈りした。これは刈り払機の刃を痛めないた

めに行う。そうこうしているうちに廃棄の準備ができたとのことで本日の作業現場である草原の一番奥まで移動する。着いてみると、なんとも綺麗な刈り取り後の風景。地面から土が覗いている。この活動に参加して4,5年になるが、この光景は初めてかもしれない。以前の刈り取り後は靴の裏が痛み、その上を歩くのも困難だった。回数を重ねていつの間にかこんな区間が生まれ、理想的な草原の姿になっていた。本日は刈り払機7台と多いためか、午後からも作業ははかどった。背の高いネザサを手刈りして少し草原を広げたり、予定外の場所でも作業を行ったり。風もなく温かくて絶好の作業日和となった。

参加者: 斧田一陽 桐村登美枝 田島聖子 森脇肇子

以上

